

富津市社会教育委員会議録

1	会議の名称	令和4年度第2回富津市社会教育委員会議
2	開催日時	令和5年3月6日(月) 午後2時00分～午後3時30分
3	開催場所	富津市役所 502・503 会議室
4	審議等事項	(1) 令和4年度富津市社会教育事業報告について (2) 令和5年度富津市社会教育事業計画について (3) その他
5	出席者名	(社会教育委員) 竹内義和、嶋野利郎、宮内和男、野尻剛史、大野泰代、 高橋栄二、杉田玲子、森千枝子、石井喜美子、佐藤泰代 (事務局) 岡根教育長、平野教育部長、平野公民館長、 樋口生涯学習課長、伊藤生涯学習課長補佐、前田社会 教育主事、杉本主任司書、伊藤社会教育指導員、 竹谷社会教育指導員、和田社会教育指導員、鈴木家庭 教育指導員
6	公開又は 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の 理由	
8	傍聴人数	1人(定員5人)
9	所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話：80-1345
10	会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

第2回 富津市社会教育委員会会議会議録

発言者	発言内容
樋口課長	<p>定刻前ではありますが、お揃いですので、只今から「令和4年度富津市社会教育委員会第2回定例会議」を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、ご多用のところ、ご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>会議の進行を務めます、生涯学習課長の樋口でございます。よろしくお願いたします。</p> <p>会議に先立ちまして、事務局より配布資料の確認をさせていただきます。</p>
伊藤課長補佐	<p>(資料確認)</p>
樋口課長	<p>次に、本日の出席状況でございますが、本日の出席委員は10名、欠席委員は3名でございます。</p> <p>従いまして、過半数の出席がございますので、社会教育委員会会議運営規則第3条第5項による、定足数を満たしていることをご報告いたします。</p> <p>次に会議の公開についてご説明いたします。</p> <p>本会議は、富津市情報公開条例第23条第1項により公開となります。よって、会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご了承願います。</p> <p>それでは、はじめに高橋委員長からご挨拶をお願いいたします。</p>
高橋委員長	<p>こんにちは。</p> <p>私はSNSをやっていますが、高校入試或いは卒業の話が出てきて、年度末の時期だなと思います。</p>

この委員として令和3年6月25日に委員会の委嘱式がありました時に岡根教育長より大変な宿題をもらいました。ご存じの通り、富津市立図書館の整備基本計画について、皆さまに大変頑張っていたいただき、次の年の2月に教育長に「これが答えです。」という形で渡すことが出来ました。その間、皆さまも大変苦労したと思います。そのような委員も今日で終わりですが、本当に長い間ありがとうございました。

その後、教育委員会をはじめ、市議会等で教育長や教育部長が大変苦労をされて通していただき、この4月1日には開館となります。そこまで運んでいただき、ありがとうございました。この会議の後に初めて来館させていただきます。

また、私もかつて宿題をもらいましたが、次の方に宿題をあげることになりました。

実は過日、千葉県社会教育連絡協議会第3回理事会がございまして、そこで第54回関東甲信越静社会教育研究大会において、この富津市から提案を出してほしいと言われ、「図書館の無い市に図書館ができた」というタイトルで次の委員の方に準備してあげることになります。

人事の事で申し訳ないですが、伊藤課長補佐がこの3月で退職されてしまうことが非常に残念だと思います。今日は皆さままで色々と審議をしていきたいと思います。

よろしく申し上げます。

樋口課長

ありがとうございました。

続きまして、岡根教育長からご挨拶を申し上げます。

岡根教育長

先ほど、委員長よりお話のありました通り、待望の図書館が4月に開館します。昨日、私も来館しましたが、図書を配架している状況です。明るい雰囲気の中で作業しており、皆さまに

も内覧していただきたいと思います。

コロナ禍で多くの活動が制限されてきましたが、感染症対策を徹底し、5類に変わると報道されています。重症化リスクの高い人の留意等もありますが、1日も早く日常が取り戻せることを願っています。

ところで、生涯学習の大きな柱である社会教育は、戦後の民主主義でしっかりと日本国民に学習してもらうために婦人学級や青年学級ができる等の取組みが盛んな時代から、現在はその方向性が多方面に渡っており、どこに主軸を置くべきか難しい、同時にそれだけ幅広く社会教育の門戸が広がっているとも言えます。国際的な観点から今言われているSDGsも様々な面があり、環境やマイノリティーの方々の人権問題等の課題も視野に入れるため、社会教育の役割が非常に大きいと感じています。大きな課題として社会教育の方向性というのが非常に多方面に渡る中での選択という形になると思います。

先ほど、委員長より富津市の提案が「図書館の無い市に図書館ができた」とありましたが、図書館を一つの方向性を見出せるツールだと感じています。社会教育の観点から色々な意見を出してもらわなければ社会教育の方向性は出せないと思いますので、とても重要な会議だと思います。忌憚りの無い意見をご期待申し上げながらの挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしく申し上げます。

樋口課長

それでは、早速、議事に入らせていただきます。

これより議事の進行につきましては、社会教育委員会議運営規則第3条第4項により、委員長が議長となる、とされていることから、高橋委員長に議長の職を務めていただきます。

高橋委員長、よろしくお願いたします。

高橋委員長

はい、それでは、ここからは私が議事進行を務めさせていた

<p>各委員</p>	<p>だきます。円滑な議事運営となりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>議題に入る前に、会議録署名人2名の指名を行いたいと思います。慣例により私から指名することによろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」との声あり)</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>ご異議もないようですので、野尻委員と大野委員を指名いたします。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次第の「3 議題」に入ります。</p> <p>(1) 令和4年度富津市社会教育・生涯学習事業報告について、及び(2) 令和5年度富津市社会教育・生涯学習事業計画(案)について、今回はまとめて、事務局の説明を求めます。お願いいたします。</p>
<p>伊藤課長補佐</p>	<p>それでは説明させていただきます。</p> <p>挨拶でもありましたが、本日は最後に内覧として皆さまに図書館を見ていただくことになっております。</p> <p>資料1及び資料2について、令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画(案)となっていますが、今年度の事業がまとまるのは年度を明けてからとなり、例年第1回目の会議で教育委員会の点検評価を資料として見ていただくこととなります。</p> <p>また、来年度事業計画につきましても、3月議会で予算が決定し、まだ流動的なものもございますことを踏まえながら、現状について資料1と資料2を並べてご覧いただきたく思います。</p> <p>まずは、昨年度より「富津市みらい構想」が10年計画として策定され、そこから「富津市教育施策」が教育委員会の個別計画としての主要政策となり、「人と人との温かくつながり、生涯にわたり学び、健康で活躍できるまち」が教育委員会の1つの</p>

方針となります。これは前回のものに比べ、生涯学習寄りであり、皆さまの協議や活躍の成果がここに反映されていると思います。皆さまの社会教育委員会議ですが、これは諸計画を立案する唯一の機関であり、第一に挙げるべきと考えております。

資料2の令和5年度(案)の、1-(1)「子どもの読書推進活動推進計画」があり、立案第1号としてここに掲載したのは画期的だと思います。来年度、図書館ができる実情も踏まえて1年かけて更新作業を行っていく予定です。また、委員長からもございました、昨年度に教育委員会から諮問を受けて答申された図書館整備基本計画がございます。

変化した点として、「学習情報の収集・提供」の生涯学習情報提供誌について、2001年当初からしばらく1万7千件余りへの全戸配布から時代と共に回覧のみとなり、800部印刷し必要に応じて公民館等に配布するやり方になりましたが、今年度も数百部余る事態となっており、次年度からデータ版に切り換え、情報収集して随時更新していくこととなります。公民館も提供誌発行後の6～7月頃に本格的に活動を開始するので、実情を反映した新鮮な情報を皆さまに届ける方向になります。私が最初に社会教育係に来た翌年の平成13年度に始めた事業なので非常に感慨深いものがあります。

次に人材バンク「まちの先生」は、同じく平成13年に当時の県内でもいち早く始めた事業ですが、利用者が減少しており、公民館職員とも協力して、再度募集をかけながら活用を図りたく思います。

資料2の1-(3)の社会教育施設について、図書システムを運用した令和2年2月時点は公民館・市民会館3館の図書室及び移動図書館を1つの図書館として利用できるようにシステム化して活用を図る方向で、施設の新設はできないとしていました。実際、緊急雇用の際にICタグ付のバーコードを購入していましたが、この時期にICタグを外したバーコードのみの

購入に1年半ほど変更しました。商業施設に図書館を新設できることになり、皆さまにも基本計画を立案していただき、議会の方々の慎重審議をいただきながら、この1年間で準備を整え、今年度初頭から設計業務、整備工事を行い、12月末に内装工事が終了しました。指定管理者も決定し、開館準備をしています。教育長からも言われましたが、本を2月2日に2万5千冊、3月3日に3万5千冊搬入し、今も配架の最中です。今日の内覧で開館準備の様子がわかると思います。

資料2の裏面にまいります。

2 - (1) について、生涯学習或いは社会教育の中心となっているのは、10年前頃は公民館を中心にしたまちづくりがメインテーマでしたが、現在は学校を核としたまちづくりに社会教育も動いています。当市におきましては家庭教育支援チームとして市長部局の子育て関係の方々とも交流・連絡をとりながら市全体の子育て家庭環境作りを一体となってやっていくことにしています。

また、2 - (2) の「地域学校協働活動の推進」も併せて、市の社会教育の中心としています。子ども達の放課後の居場所を確保しながら親御さんと出迎え時にお話しする等、相談窓口の仕切りを無くした相談しやすい環境を作ってきました。資料に掲載していませんが、成果としては年間に1～2人来れば高いと予想したものが、今は家庭教育指導員自身の活動もあり、20件以上の成果が出ています。

2 - (3) の「青少年健全育成の推進」について、地域未来塾や青少年健全育成団体の活動支援として補助金交付が主な支援となります。

3の「郷土愛を育む」というのも、富津市ならではの子ども達の育成等に必要だと思います。今現在の目立った動きとして、3 - (1) の鋸山の日本遺産の「候補地域」が挙げられ、全国の3か所に選ばれ、その補助事業を得た3か年の最後の年

	<p>を向かえます。その先にまた評価をいただき、日本遺産への応募等の正念場を向かえております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
高橋委員長	<p>事務局の説明は終わりました。</p> <p>委員の皆さまからの、ご意見、ご質疑を伺います。ご意見等ございますか。</p>
石井委員	<p>この1年間、社会教育に係る皆さまのご尽力いただきまして、諸々の計画や成果が形となり、今を変えられることに感謝申し上げます。どうもありがとうございました。</p> <p>資料1の令和4年度生涯学習関連事業で詳しく教えていただきたい部分があります。「2 家庭教育への支援と連携・協働の推進」の(1)及び(2)から地域ぐるみで子ども達を支援していく中で「福祉の窓口課への家庭教育指導員の配置」の記載がありますが、これは富津市独自の取組みですか。また、家庭教育指導員を福祉の窓口課に置いた根拠と具体的な取組みを教えてくださいませんか。</p>
高橋委員長	<p>事務局の説明をお願いします。</p>
伊藤課長補佐	<p>はい。家庭教育指導員が本庁勤務となったのが平成29年度からでした。それ以前は社会教育指導員と併せて公民館勤務であり、「家庭教育学級」という事業に補助金を出す等の取組みが30年以上行われており、今現在もそれを家庭教育支援の主流としている自治体も多く、人材や実績等で苦勞されています。わが市の数十年続いた家庭教育学級について財政協議を行い、組織改編で市全体で連携するための「福祉の窓口課」ができ、そこに配置する形で家庭教育指導員が本庁勤務となりました。1年間試行錯誤しながら放課後ルームを作り、学校での保護者と</p>

	<p>の「相談窓口ではない形での接点」も目的にした子どもの居場所作りを実施してきました。</p> <p>窓口での相談内容としては、保護者と接する機会を活用して、ご自宅や公民館での相談、福祉部局と連携した家庭訪問等を通して広げてもらっています。</p>
石井委員	<p>具体的にありがとうございました。</p> <p>今後も皆さまが学校から帰った子ども達と関り、状況を把握してもらえることをありがたく思います。ぜひ色々な保護者や地域に広めていただけるよう、よろしくお願ひします。</p>
高橋委員長	<p>他にございますか。</p>
各委員	<p>(「なし」との声あり)</p>
高橋委員長	<p>他にご意見等もないようですので、ここで、お諮りしたいと思います。令和4年度の事業報告及び令和5年度の事業計画について、承認いただける方は挙手を願ひます。</p>
各委員	<p>(賛成多数)</p>
高橋委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、賛成多数と認め、「令和5年度 富津市生涯学習関係事業計画」(案)をこの方向で選んでいただきたいと思います。</p> <p>続いて、議題(3)社会教育関係補助金の変更について、事務局の説明を求めます。</p>
伊藤課長補佐	<p>資料3-3をご覧ください。</p> <p>社会教育法第13条に、地方公共団体が社会教育関係団体に</p>

補助金を交付するためには、予め社会教育委員会議の意見を聴かなければならないとあり、補助金の内容に変更があるため、その説明を行います。

資料3の新旧対照表の通り、富津市子ども会育成連絡協議会（以下、育成会）の補助金が34万円から44万円になります。会員の共済保険を会費として徴収しており、それが100円高くなって300円になります。会員数が減少している中で保険費用が高くなるという会長の相談が市長の耳に届き、活動資金も皆さまで持ち寄るなど苦慮されていることから10万円増やすことを市長より打診されました。

また、青少年相談員の補助金を83万円から96万円に増加する件について、相談員は市の連協と3地区の連協から成り立っており、特に市の連協は17万円と少ない額であるため、こちらも苦慮しています。そのため、市の連協と3地区とも一律24万円で査定した所、それが可能となりました。

資料3-3の「趣旨」の通り、市が拘束するのではなく、社会教育委員による確認が推奨されることが望ましいということです。

以上です。

高橋委員長

事務局の説明が終わりました。
ご質問等ございますか。

竹内委員

育成会の竹内です。

今、伊藤課長補佐の方から話していただいた通り、今年度まで34万円ほど補助金をいただいておりまして、市にお願いした所、額を上げてもらうことになりました。

保険が高くなる件について、育成会の方で安全共済会という色々なことに適用可能な保険に入っています。適用できることが多いので、市が主導になっていただければ、子ども会だけで

なく、他の団体でも役に立つと思っています。

我々育成会も全国組織であり、上部組織である全子連、その下に千葉県の育成会がありますが、そこが財政難になっており、下から吸い上げる形で保険費用が100円高くなりました。我々も反対しました。富津市も子どもの数が減っており、ここ数年、子ども会の解散も増えています。特に深刻なのが大佐和地区内の大貫地区です。富津・大佐和・天羽の3支部がありますが、9年目となる私が入った頃から天羽支部は休会となっています。大佐和地区も昨年、育成会の保険に加入してくれたのは4地区程度です。子ども会自体の存続ができない状況になっています。子ども会がなくなり、我々の活動休止を防ぐためにも、市が動けるのならお願いしたいという思いもあります。

子ども会に限らず、なくすのは簡単です。子どもが少なくなり、「子ども達のため」とPTAや地区の役員、育成会の理事等を兼務している方もいます。つぶすのは簡単ですが、立て直して作るのは大変です。区長にも子ども会存続の話をしていますが、子ども会の活動中止という話が区にも影響しており、そこを危惧しています。

なんとかそのような方達と連携し、子ども達のために何かできることがあればいいと思っています。来年度から補助金を上げてもらったことは本当に感謝しています。それでも、今年度も青堀地区や富津地区の子ども会から活動休止の希望が出ており、今までは富津支部で保っていたが、そこも危うい状況です。子ども達の数が多い青木地区に頑張っほしかったが、市外から移住した方も多く、役員をしていただける方もおらず、休会となっています。子ども達の多い地区もそのような状況であることを知っていただきたく、話をさせてもらいました。

ありがとうございました。

高橋委員長

ありがとうございました。子ども会の実情を伺いました。

各委員	<p>他に何かありますか。</p> <p>(「なし」との声あり)</p>
高橋委員長	<p>ご意見等もないようですので、ここで、お諮りしたいと思います。社会教育関係補助金の変更について、ご異議ございませんでしょうか。</p>
各委員	<p>(「異議なし」との声あり)</p>
高橋委員長	<p>ご異議なしと認め、補助金の変更は承認されました。事務局は、教育委員会への上程をお願いいたします。</p> <p>次に、次第の「4 報告」に入ります。</p> <p>報告事項は5件ありますが、まず(1)千葉県社会教育振興大会について、(2)君津地方社会教育委員連絡協議会研修会について、(3)君津地方社会教育推進大会についてまで、3件まとめて事務局から説明をお願いします。</p>
伊藤課長補佐	<p>まず、資料4が報告(1)の千葉県の大会、資料5が報告(2)の移動研修で、山梨県で実施された関東ブロックの大会です。</p> <p>「ちば社教連 第61号」のp.2に今回の千葉県社会教育振興大会の記事が掲載されており、3年ぶりに複数の委員が出席される形で開催されました。また、p.4の写真では高橋委員長が表彰されています。おめでとうございます。</p> <p>p.5の第53回関東甲信越静社会教育研究大会の記事の「ライブ参加：11名」の内、10名が君津地方の方々であり、事務局と数名の委員の方が参加しました。</p> <p>続きまして、通常は座学又は移動研修のどちらかを実施しますが、研修会の実施が未定の中で関東ブロック大会の期日が迫り、移動研修の実施に踏み切りました。そして、座学も研修担</p>

	<p>当の君津市が綿密なスケジュール等で尽力いただき、今年度は日鉄様のクローバー賞が実施されなかった関係で協賛金がいただけず、厳しい状況でしたが、実施できました。</p> <p>ちば社教連の p. 10 の「君津地区の活動報告」の通り、時期等をずらしながらも実施しています。報告（２）－イ 研修会から（３）の推進大会までまとめてのご報告とさせていただきます。</p>
高橋委員長	<p>事務局からの説明は終わりました。</p> <p>ご質疑等ございますか。</p>
各委員	<p>（「なし」との声あり）</p>
高橋委員長	<p>ないようですので、次に移ります。</p> <p>次に、（４）令和５年度二十歳の集いについて、事務局の説明を求めます。</p>
平野公民館長	<p>それでは、令和５年二十歳の集いについてご報告させていただきます。</p> <p>資料８をご覧ください。令和５年度二十歳の集いは、令和５年１月８日（日）に富津公民館にて実行委員会を中心に、午後２時から式典が開催されました。</p> <p>続いて資料８－２をご覧ください。新成人の対象者は４１０人であり、出席者は２８５人でした。内訳は、市内からは２４０人、市外からは４５人で、出席率は６９．５％で昨年度の６７．５％を上回る結果となりました。一般の入場者も昨年の９４人から、今年度は１７６人の方に来ていただき、和やかな雰囲気です式典が行われました。</p> <p>社会教育委員の皆さまにはかつて全員招待させていただいておりましたが、コロナ禍を契機に招待者の見直しを行い、委</p>

	<p>員長のみのご招待とさせていただきます。次回からも委員長のみのご招待を検討していますので、何卒ご理解いただければと思います。</p> <p>簡単ではありましたが、令和5年二十歳の集いの報告とさせていただきます。</p>
高橋委員長	<p>ありがとうございました。事務局からの説明は終わりました。</p> <p>ご質疑等ございますか。</p>
各委員	<p>(「なし」との声あり)</p>
高橋委員長	<p>ないようですので、「5 その他」に移ります。</p> <p>(1) 君津地方社会教育委員連絡協議会の当番について、事務局お願いします。</p>
伊藤課長補佐	<p>それでは資料9をご覧ください。</p> <p>こちらの当番表について、平成25年頃から検討して、平成26年から新しい順番を決めたものになります。理由として、事務局の担当の市が大会や研修の担当と重なることがあり、2年ずつ各担当を交互に担当していく方針にしたものです。それを続けていき、現在の令和3～4年度は富津市が事務局を務めてきました。大会担当は木更津市となっていますが、袖ヶ浦市が担当の令和2～3年度についてはコロナ禍で実施されず、皆さまのご記憶にあるものとしては令和元年の富津市が担当の大会が最後となっていました。</p> <p>木更津市では、会場となる市民会館が改装中で使用できず、アカデミアパーク等も費用がかかるので、事務局の富津市の富津公民館を会場として実施しました。それに関しては資料7が木更津市の作成した実績報告となっています。来年度も木更津</p>

市の市民会館は引き続き使用できないようで、その場合は袖ヶ浦市になるかもしれません。

資料9の右部の「県連事例発表」について、平成29年の本市が担当の時は千葉県の振興大会の発表をちば県民プラザで実施し、来年度は君津市の予定となっています。

高橋委員長より説明のありました関東ブロック大会の事例発表について、千葉県の事務局より、富津市の社教委員の皆さまから始まっている図書活動と君津市のコロナ禍の対策事例の発表の2択を迫られた所、君津市の事例発表は今年度までの時期の内容なので来年度に発表するには古いネタとなってしまうので辞退され、当市で引き受けることになりました。その内容としては、資料9-2下部の通りとなります。皆さまのご尽力いただき受賞した「ちばコラボ大賞」やコロナ禍の活動も含めてのお話ができればと思います。よろしく申し上げます。

高橋委員長

ありがとうございます。
ご質疑等ございますか。

高橋委員長

私から質問をよろしいですか。
来年度のクローバー賞はどうなりますか。

伊藤課長補佐

来年からは「実施したい」という声を昨年度からいただいています。大会の時期が7月であり、今から表彰募集をしなければならず、人事異動等もあるので、躊躇されている状況です。今回は大会を1月末に実施した所、準備期間が短かったのですが実施でき、日鉄様も4か月程度前の9月頃から準備すれば間に合うとのことで、その時期で合意しました。また、4市の議員や委員長との会議でも、1月末の実施をもう1度やってみてはどうかという意見をいただき、令和6年1月27～28日を予定しています。併せて、来年度は7万円の協賛金を確保できる

	<p>予定です。</p>
高橋委員長	<p>ありがとうございます。お疲れ様でした。</p> <p>来年度は、状況によっては社会教育振興大会やクローバー賞が1月頃になるかもしれません。</p> <p>他にございますか。</p>
各委員	<p>(「なし」との声あり)</p>
高橋委員長	<p>特に質問がなければ、次に移ります。</p> <p>次に、(2) 富津市立図書館の開館について、事務局から説明してください。</p>
伊藤課長補佐	<p>委員長の挨拶にもありました本日のメインイベントである図書館の内覧会について、資料 10 が富津市とイオンモール富津と(株)図書館流通センターの3者で発表した報道機関に対する内容であり、2月28日に発表しています。</p> <p>ちなみに、裏側の館内の各エリアの紹介について、写真のように見えますが、全て設計された方が描いたイラストであり、現地はまさにこのような空間となっております。3月20日が議員と記者を招待した内覧会となっております、それが写真の公開日となっております。資料10の内容は、図書館整備基本計画から抜粋しており、気軽に立ち寄れる図書館をコンセプトにしています。富津市は図書システムも導入され、正味の登録者数が出ています。導入当初の令和2年は人口に対して登録率が6%程度でしたが、現在、やっと8%を超えた所です。目標にしているのは、もちろん二桁であり、開館と同時に来年度は15%を目標としています。皆さまのお声掛けの方もよろしく願いいたします。</p> <p>資料10-2が区長回覧で配布するチラシとなっております。開</p>

館時間が午前 10 時から午後 8 時までとなっておりますが、開館日はオープニングセレモニーを行うため、午前 10 時 20 分にテープカットをして開館予定です。よろしくお願いいたします。

また、裏に図書館で本を借りる方法等が掲載されており、よくご覧いただき、ぜひ利用していただきたいと思います。下部に掲載されている「富津市電子図書館サービス」も図書貸出券の登録番号で利用できますが、紙媒体専用の図書システムと電子図書館は別のシステムとなっておりますので、よろしくお願いいたします。現在お持ちの貸出券をそのまま利用できますが、図書館の開館に合わせて、新しいデザインの貸出券も用意しています。そちらをご所望の方は交換もできますが、改めて登録が必要であり、登録番号が変更してしまうことだけご了承ください。電子図書館の利用登録番号も変更になる手間も必要になります。新しい貸出券への変更は、3 月 18 日からイオンモール富津や図書施設で対応可能になる予定であり、順次お知らせいたします。

以上となります。

高橋委員長

ありがとうございました。

色々と耳寄りな情報でしたが、何か質問はございますか。

高橋委員長

私からの質問となりますが、職員は何名になりますか。

伊藤課長補佐

15 名程度いらっしゃって、1 日に常時 8 人程度携わると窺っております。こちらの想定よりも若干多めの人数を用意して下さっています。

高橋委員長

ありがとうございました。

他にご質問はありますか。

各委員	<p>(「なし」との声あり)</p>
高橋委員長	<p>このあと見学できますからね。館長がどんな方か楽しみです ね。</p> <p>次に、(3) 自主学習会について、これは杉田副委員長からご 報告ください。</p>
杉田福委員長	<p>それでは、資料 11 をご覧ください。</p> <p>前回の社会教育委員会議でお呼びかけさせていただきました た図書館に関する自主勉強会に関する話し合いの内容につい てご覧いただきたいと思います。市民と共に育て合う図書館を 作ろうということを目指して、これからも社会教育委員の自主 勉強会開催を続けたいと思っておりますので、皆様のご参加 ご協力をお願い申し上げます。</p> <p>この場をお借りしまして、委員長はじめご参加くださった皆 さん、ありがとうございました。</p> <p>また、伊藤さん網代さんにも自主勉強会にも関わらず、ご 参加いただき感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>以上です。</p>
高橋委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、(4) 図書館協議会委員について、事務局から説明して ください。</p>
伊藤課長補佐	<p>資料 12 の富津市立図書館条例の中で、裏面の第 7 条に「図書 館協議会を置く」としています。第 7 条第 2 項の「次に掲げる 者」について、(1) ～ (4) に関しては皆さま社会教育委員に 関係する方が該当しています。そして、図書館協議会で特徴的 なのが (5) の「公募による市民」と (6) の「市内で図書が</p>

	<p>ランティアを行う者」になります。</p> <p>(5) について、市ホームページや広報で周知した通り、2月の1か月間を期間として2名募集した所、6名の応募がありました。ありがたいことです。色々な世代や立場から小論文を書いていただき、選考委員会による採点中でございます。今週末に採点表を回収し、来週初めには採点する予定です。</p> <p>また、社会教育の関係者も数名予定しており、平成28年頃から図書館部会等の中心となって活動している杉田副委員長を社会教育委員会議として推薦していただきたいというのが事務局からの提案になります。よろしく申し上げます。</p>
高橋委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>繰り返します。図書館協議会委員の候補として、社会教育委員の代表として杉田副委員長を推薦したいということですが、いかがでしょうか。</p>
各委員	<p>(「異議なし」の声)</p>
高橋委員長	<p>異議なしということで、社会教育委員会議として承認することということで、よろしくお願ひいたします。</p>
各委員	<p>よろしくお願ひします。</p>
高橋委員長	<p>何か他にございますか。</p>
各委員	<p>(「なし」との声あり)</p>
高橋委員長	<p>ないということであれば、以上で、本日の議事はすべて終了しました。</p> <p>議長の職を解かせていただきます。ご協力いただき誠にあり</p>

樋口課長	<p>がとうございました。事務局へお返しいたします。</p> <p>高橋委員長、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様には、長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和4年度富津市社会教育委員会議第2回定例会議を閉会といたします。</p> <p>お疲れ様でした。</p>
------	---